



援農状況 *Let's Activate Area* AGRI

11月の援農は1695時間(内無償研修は25時間)、援農参加者は52人、受け入れ農家は13軒でした。今年度累計は17007.5時間で、昨年度比139%です。

作業内容は、収穫と出荷調整(大根、かぶ、人参、ごぼう、ねぎ、大豆、八頭、里芋、京いも、さつまいも、春菊、小松菜、ほうれん草、じゃがいも、ブロッコリー、柿、キウイ、バジル、唐辛子、菊などの花)、タネ取り(ショウガ、里芋、八頭)、肥料やり、水やり、トンネルかけ、片づけ(きゅうり、ハウス、トマト、ピーマン、ほうれん草、田んぼ)、間引き(人参、白菜、大根)、稲刈りと稲掛け、苗植え(玉ねぎ、キャベツ、花)、播種(エンドウ)、草取り、野菜販売、選卵、花卉栽培の作業(寄せ植え、リース作り、花摘み)などです。学校給食に出荷している農家は、玉ねぎの定植に多くの人手がかかりました。花卉栽培は年の瀬に向かうにつれ忙しくなります。

イベント情報

通常総会

日時:平成26年2月15日(土) 午前10時~12時

場所:八王子市役所 地下1階 食堂

皆様大勢の参加をお願いします。尚昼食の準備を会で行います(無料)

新しく入会された方々

小林よし子さん(打越町)、三枝恭子さん(打越町)、高木芳明さん(川町)

援農体験記

平岡町 諏訪右

前は、ベランダのプランターで、葡萄を育てたり、ミニトマトをやっていました。家内の実家を建て替えた時に池を潰して、庭(畑?)にした。農家の義姉から貰って来たアスパラは意外に育ってくれ、炒めるだけで美味しかった。

が、結果的に実用になったのは、キュウリ、ミニトマト、ジャガイモ等と、自然に生えてきた、紫蘇、三つ葉、ニラ、茗荷だった。

畑?を深く掘ると、瓦礫だったので、夏休みを使って撤去したが、花の勢力が強く、苺も白い花がたくさん咲いたが、実は小さく、鳥のデザートになった。

すずしろ22には、関係者がいて、早くから入っていたが、真夏の草取り、鳥除けのネットの脱着作業...等人数不足の緊急要員?の感覚でした。今は農家さんの話を聞き、畑の点在化、後継者の問題等を抱えながら、土づくりから、出荷、売れ残りの引き取りまで、全作業を少人数でこなさざるを得ない実情を知り、地産地消費が出来る八王子の農業に不安を感じながら、草取りや、ハウスの片付け、苗の植え付け!のお手伝いを、楽しくやらせてもらっています。

理事会・分科会だより

第12回理事会開催 12/17(火) 18:10~20:30

(台町市民センターにて 理事8名 監事1名出席)

- ・報告(援農、会計、こんにやく料理教室)
- ・富所農園 研修農場の運営について
- ・事務局、援農事務について
- ・総会準備と役割分担について
- ・援農事務人件費、イベント費の按分について

三役会開催 11/27(水) 13:00~16:00

(中野市民センターにて 理事3名出席)

IT&広報分科会開催 12/3(火) 15時~17時

(台町市民センターにて。理事3名・会員2名出席)

IT&広報分科会開催 12/12(木) 10時~12時半

(イトーヨーカドー狭間店にて。理事2名・会員2名出席)



事務局より

すずしろ22のホームページを改訂しました。アドレスも変わりました。見てみてください。
<http://www.suzushiro22.org/index.html>



富所農園だより

富所農園は平成22年9月開設し今年で満3年になりました。この間、新滝山街道も開通し農園に行くのも大変便利になりました。利用者の皆さんも草刈等の共同作業を通じてコミュニケーションも生まれ、それぞれ好みの野菜作りを楽しそうにされており、今年11月、利用者の一人から事情が出来、利用解約の申し出がありました。そこで理事会で空き区画をどうするか協議の結果、以前からすずしろ22で構想の有る研修農園開設の試金石としてミニチュア研修農園を開設したらどうかとの意見が出ました。今後、市役所農林課に相談し、地主の村内様に計画を説明、了解頂き次第、来年3月の開園に向けて、準備を進めていきます。講師は農家会員の方をお願いし座学を中心に行う予定です。計画が決定すれば来年2月に受講者の募集を行いますので宜しくお願い致します。尚、富所農園全体の管理を久保田さんに代わ1月より清水理事にお願いしております。

(次ページもご覧ください)

料理教室報告

こんにゃく作りと地場野菜を使った料理教室



12月6日地産地消分科会「旬菜会」のメンバーによる料理教室を行いました。
会場は川口市民センター調理室。参加者25名（男性3名）募集数25名に対し32名の申し込みがありました。（ほとんどの方が市の広報を見てのお申し込み）

《メニュー》

八王子産（坂本農場）の蒟蒻芋を使ってこんにゃく作り。
八王子産（中西農場・秋間農場）の野菜を使ったみそすいとん。
大根の葉を使ったじゃこ菜めし。
こんにゃく料理三品（生姜炒め・土佐煮・柚子みそかけ）
見本としてこんにゃくとサーモンの昆布め。

《パネルの展示と野菜の販売》

すずしろ会員の農場の位置や、野菜を提供して下さった農家の紹介などを行い、当日使った野菜の販売も行いました。



こんにゃく芋は皮をむいてミキサーにかけます。



凝固剤は貝殻カルシウムを使用しました。



強く力強くこねます。
アクが強いので手袋します

当日見学者の学生 A さんの感想文

私は東京都における援農ボランティアについて調査する中で、現在も持続的で安定した活動を行っているすずしろ22に出会い、12月6日の料理教室にて活動に関するお話をお聞きしました。多くの市民やNPOによる援農ボランティアは設立当初と比べ、だんだん活動が下火になってきているように感じていましたが、すずしろ22は設立時から会員数も増え続け、安定的な援農支援を行っています。活動は援農ボランティアだけにとどまらず料理教室や学校における食育活動など多岐におよび、それは市民の余暇の充実や人的交流の促進、環境意識の向上などにも良い影響を及ぼしているのではないかと感じました。

最後に、都内でも有数の農業地域である八王子の自然に恵まれた環境を大切に、農地を保全し活用していくことは東京の農業を支えるうえで非常に大事なことだと思います。地域を問わず、このような活動の輪が広まっていくとよいと思います。

進行担当（司会）の針生福愛さんの感想

当日の準備を進めていく中で、忙しいスケジュールの中、打ち合わせや2回の試作を行い、当日の準備や段取りを整えて下さったメンバーの皆さんの、地域の為に尽くす姿は、本当に素敵でとても多くのことを学ばせて頂く機会となりました。

日本の食や農業を真剣に考え行動されてきたメンバーの皆さんが、若輩者の私に司会進行を任せて下さったのではないかと感じます。何より、お茶を飲みながら、年の差を超えてワイワイお料理を作ることがとても楽しかったので、これからもいろいろなお料理に挑戦していきたいです。